

さくらだより

第18号

2011年8月15日

社会福祉法人京都老人福祉協会 京都市伏見区深草大亀谷東古御香町59番地・60番地 TEL.075-641-6622 FAX.075-641-6633
<http://kyoro.or.jp/>



八坂祭り

京都では祇園祭りの山鉾巡行も終わり、暑い夏を迎えています。

京都老人ホームでは、去る6月19日に「大亀谷八坂神社」にて恒例の「八坂祭り」が執り行なわれました。八坂神社、八坂神社婦人会、清風会、祇園太鼓、獅子舞の皆様をお迎えして、「大亀谷八坂神社」に玉串の奉奠が行なわれ、和太鼓、獅子の舞が披露されました。

CONTENTS

ことば	2	事業所だより～春日丘センター～	5
特別養護老人ホームの第1日曜日は 何の日でしょう？	2	きっちんさくら	5
事業所だより～深草センターほっこり～	3	パン班の活動	
介護保険なんでもQ&A	3	施設ご利用者 満足度調査の結果	6
 事業所だより ～養護老人ホーム～	4	コラム	6
 職員紹介	4	赤ちゃんつばめ、 元気に飛び立て!!	
板橋の町家ほっこり		平成23年度事業方針	7
		うづら保育園	
		てんとう虫の会紹介	8
		「楽しくみんなですつどいました」	



食堂の窓いっぱいの花火
利用者さんの筆遣いはお見事です！



ハートで
ぬくもりと安心を
お届けします
京都老人福祉協会



がんばろうニッポン

副理事長
三代 修

さる3月の震災では2万人を超える方が亡くなったり行方不明になりました。今なお避難生活を余儀なくされておられる事に、日本中の人が心を痛めています。

地震と津波の被害に加えて原発事故の影響も甚大です。災害の規模から考えれば被災地の復興への道は長く険しいものとならざるを得ません。また電力供給の問題、原発事故による環境問題は、国民全体の生活のあり方をも問い直しています。全国からボランティアや義援金が寄せられ、当法人でも募金や、来京されている被災地の皆様への保育や介護サービス、被災地への職員派遣などを行ってきました。今後も息の長い応援をしてゆきましょう。

災害から日を追うごとに復興の報道も多くなってきました。自分の生まれた地域にこだわり、奮闘している方々の姿をみると感動すら覚えます。振り返って私たち自身はどうなのだろうか。福祉や介護の事業は地域に根を

張った事業でなければ成りませぬ。「地域包括ケアシステム」も「子ども子育て支援システム」もそういった思想で構築されていきます。「住み慣れた地域で安心して住み続ける事ができる社会を実現する」ことを私達の使命と考え、そのための人材作り、危機や失敗から教訓を学ぶ事ができる人材を育てる事が肝要です。

原発の終息や電力不足など問題はまだまだ続きますが、難局を乗り越えていく力を東北の人々も全国の人々も持っていると感じています。ニッポンもまだまだ捨てたもんじゃない。がんばろうニッポン!!



特別養護老人ホームの第1日曜日は何の日でしょう?

〔答え〕家族会ボランティアの日です。この日は家族会の方々が日頃職員がなかなか出来ないお風呂のミゾ掃除や車椅子の洗車、窓拭きなどをして下さいます。その他にも職員がお願いをしても可能な事は引き受けて下さいます。

6月5日は、十数名の方々がおしほり作りと西館・本館の風呂ミゾ掃除の2グループに分かれて作業しておられました。この日の様子を見せて頂きましたが、暑い中、汗をかきながら皆さん一生懸命作業をして下さっていました。

家族会の皆さま本当にありがとうございます。これからもよろしくお願ひします。

西館2階ではボランティアの日はもちろん、別の日でも多くのご家族様の面会があります。毎日昼食の食事介助に来て下さる方、サークルの日には最初から最後まで付き添いをして下さる方など入所してからも親子の変わらない関係を保たれている事を感じました。



事業所だより

みなさまに生まれて10周年

深草センターほっこりデイサービスセンター介護職員

山崎 美穂

深草センターほっこりは、この5月1日で10周年を迎えました。これもひとえに、ご利用者様やご家族様、地域の方々の温かいご支援のおかげです。本当にありがとうございます。

5月22日から10周年記念週間として、様々な催しを行いました。『年金者組合キントレ踊りサークル』の皆さまからは踊りや腹話術を披露して頂き、ソプラノ歌手の青野浩美さんをお招きしてミニコンサートも行いました。また、京都老人ホームの給食部門『きっちんさくら』の協



▲青野浩美さんを招いてミニコンサート



▼揚げたてアツアツの天ぷらを召し上がっていただきました

力のもと、特別メニューとして、ちらし寿司やオードブル、さらに天ぷらはご利用者様の目の前で揚げ、出来立てを召し上がっていただきました。皆さんから「美味しかった!」、「ちよっと食べ過ぎた」の声も頂き、喜んで頂けました。そのほか、ほっこりの名前入り記念タオルも作成し、皆さんにお配りしました。さっそくデイサービスで使ってくださいる方や、「記念に取っておきます」と言ってくくださる方もおられました。

20周年に向けて

10周年記念という大きな企画でしたので、準備など大変でしたが、ご利用者様に「次の20周年も絶対来るから!」と喜んで頂けました。こうした利用者様

一人一人に本当に支えられていると実感した一週間でした。次は20周年に向けて、ほっこり職員一同、より良いサービスを心掛けるよう励んでいきたいと思

介護保険なんでもQ&A

Q: 介護保険と医療保険はどう違うの?
A: 同じようなサービスもありますが、介護保険は利用ルールが複雑です

医療保険の財政的破綻の懸念もあり、介護保険では持続可能な制度とするためにさまざまな工夫が設けられています。

まず、利用条件からいうと、医療保険のように被保険者証を持っているだけではダメで、基本的には「要支援または要介護」という認定を受けた人でなければサービスが利用できません。さらには、その要介護度により保険で給付される上限が設けられており、それを超えた場合は保険が適応されず全額自己負担です。

また、総合的かつ効率的なサービス利用を実現するため、介護支援専門員(ケアマネジャー)が利用者とともに、介護サービス計画(ケアプラン)を作成し、そのプランに基づいた利用が基本となります。

サービスをみると、「訪問看護」や「施設サービス」、「居宅療養管理指導」など従来、医療保険で行われていたサービスをそのまま介護保険制度に移行させたようなものもあり、それらの内容を名称だけで見極めることは困難です。

※両保険制度の違いなどを判断したい場合には、病院の医療相談室(連携室)やケアマネジャーなどに相談してみましょう。

事業所だより

『楽しみのひとつ…!?!』

養護老人ホーム職員 中川外志美

養護では、利用者さん同士や職員とのコミュニケーションを図り、外に出る機会を作り気分転換をして頂く、また、楽しさを持って頂くことを目的とし、年に2回春と秋にレクリエーションをしています。

いくつかの店の中から利用者さんにご希望のお店をお聞きし、グループに分かれて外食に出掛けます。また外出が難しい方には施設で出前を取り、楽しんで頂きます。

当日はいつもと違い、おしゃべりに着替えて、出発時間を今か今かと、待っておられます。

車に乗り込み、いざ出発。何を食べようかと車中から話が盛り上がりします。

皆さん、職員に負けないくらいに召し上がられ、別腹、と笑顔でデザート。中には、お酒を飲まれる方もおられます。

好きな食べ物を前に笑顔になり、いつもと違う雰囲気の色々



▲がんにて、おいしい笑顔で「ハイ、チーズ」

な話が出ます。そこから気づく利用者さんのことや、また一つの大きなテーブルを囲むことで利用者さん同士で会話が弾み、新たな繋がりが出来ます。

板橋の町家ほっこりでケアマネジャーをしています。松尾昇一郎です。私は、板橋の町家ほっこりへ来て3年目を迎えました。

皆さんご存じのように板橋の町家ほっこりは、地域密着型の小規模多機能型居宅介護という介護保険サービスです。名前の通り、小さな規模の中に、皆さんの機能を持ち合わせたサービスで、デイサービスの通いサービス、ヘルパーの訪問サービス、ショートステイの泊まりサービス、3つを一つの事業所で行っております。

認知症のある方には、職員と馴染みの関係をつくりやすいので、とても有効なサービスと言えます。認知症の方は環境の変化、人の変化にとっても敏感で、「ここは、どこ?」「あなたは、誰?」という気持ちが常にあるので生活をしておられますので、毎日が不安の連続であり、なかなか他人を受け入れられないこと

笑顔がいっぱい

板橋の町家ほっこり 松尾昇一郎

が多いですが、小規模多機能の場合は、通いに来られても、家に職員が訪問しても、同じ顔ぶれになるので「何か、見たことあるな」「何か、知っている人かな」という気持ちが芽生え、不安な気持ちを少なくすることが出来ます。



今日もご機嫌ですね!!

事業所だより

春日丘農園・利用者とともに開墾中

春日丘デイサービスセンター 國井幹正

春日丘センターのある醍醐地域は、今ではお店や住宅の多いにぎやかな町ですが、昔は田んぼや畑や山に囲まれたのどかな地域だったそうです。

そんな地域柄も関係してか現在、春日丘センターでは園芸、農作業に興味をもたれた方が多くおられます。中には「春日の庭の手入れをする」ことが目的



▼ブロックを撤去、拡張中

▲利用者さんは職員より働き者です

で楽しみに来られる利用者さんもおられるくらい。ですから今までの庭では手狭になり、そのニーズに出来るだけ応える為到庭の拡張工事を職員、利用者さんで取り組んでおります。

少しずつの作業となつていますが、だんだん庭らしくなり、職員や利用者さんだけで取り組んでいるとは思えない出来映えとなつてきました。

外観は9割程度完成しましたが、これから一番大変な土入れ、土作りが残っています。他事業所のお力もお借りして、完成まであと少しです。(眼で見ても癒される美しい草花・眺めてよし、食してよしの野菜等々これから「庭」から「ファーム」へと変わって行く事でしょう。)

完成した折にはブログ等で紹介しますので、ぜひ手作りの春日丘ファームへ一度お立ち寄りください。

パン班の活動



きつちん「さくら」調理員 本庄小雪



今年度からきつちんさくらでは、コミュニケーションカフェ、食堂活動の一環として、パン班というプロジェクトができ、活動を始めました。

目的は利用者や職員に対し、京老や各地域の施設で焼きたてのパンを販売していく事です。

パン作りは、パンの販売に向けて去年から各地域や京老デイのおやつにだして実力をつけてきました。試作を何度も繰り返し、試行錯誤してたくさんの方のパンを作りました。きつちんさくらではパン専用のこね機がないのでもちつき機を使ってパン生地をこねています。この機械は自分の目でパン生地を確認して機械を止めなければいけません。始めは難しく大変でしたが、いまではパンの状態がわかるようになり、機械の使い方も完璧です。

去年は本当に手探りでした



▲美味しそう! 大盛況の販売風景

が、今年度からパン販売に向けて動きだし、去年の苦労が報われ、とてもうれしいです。目的をはたせるよう、パン班ではおいしいパンをたくさん作り、みなさんに届けようと努力し活動をしています。

第一歩として5月12日に京老の大食堂で第1回目のパンの販売を行いました。事前の宣伝の甲斐もあり、たくさんの方の職員の方が買いにきてくださり、好評でした。

平成23年度事業計画

社会福祉法人 京都老人福祉協会

基本方針

(1) 組織づくり

- ① 組織理念の見直しと中長期計画の作成
 1. わかりやすく（職員にも、利用者にも）
 2. 価値観の共有をすべての職員を対象に深める
 3. 倫理観・人権教育
 4. 計画作成検討委員会の設置（事業戦略、組織体制の戦略）
- ② サテライト事業所を支える本部機能の強化
 1. 事業データの的確な把握と事業所の管理者へのタイムリーな提供
 2. 職員の心の健康のサポートを健康相談室（昨年秋創設）を中心に行う。人事異動時、採用時の不安定な時期のサポートを強化
- ③ 財務戦略の検討
 1. 経営指標を的確に事務局で作成する
 2. 業務の合理化。大規模編成施設に見合った合理的な財務処理を行う。
 3. 資金需給の管理に力点を置く
- ④ 組織安全管理室の拡充
 1. 民主的的内部監査制度としてあんしん巡回相談事業を引き続き展開する
 2. 事務局員配置を行う

(2) 人材育成

- ① キャリアパス（能力開発支援）
 1. 専門職意識の向上
 2. 資格取得支援。とりわけ介護福祉士資格については介護事業の基本資格として取得支援を組織全体の問題としてとらえ個人任せにしないものとする。
 3. 一人一人の業務遂行能力の向上を支援できる体制を確立する。
- ② 子育て支援…次の好景気＝介護人材難までに成果を挙げる（5年以内）。
 1. 各種支援制度の拡充。うづら保育園の一時保育機能を活用する。
 2. 中長期的な働き方の多様化を支援する。
 3. 事業所内保育所設置を検討する。
- ③ 障害者支援
 1. 雇用体制の拡充「全ての事業所で障害者雇用を」
 - (ア) 研修体制・職場援助体制の整備
 - (イ) 当事者（障害）の主体的参加
 2. 就労支援事業への着手を検討する。

(3) 事業展開

- ① 地域密着型サービス
 1. 24時間地域巡回訪問サービスの準備を行う。
 2. 収益性の改善と経営の安定化を目指す。
 3. 深草地域を中心に地域全体のネットワーク機能を強化し地域包括ケアシステムの確立に向けた取組を行う。
 4. 介護予防推進センター・地域包括支援センターを地域包括ケアシステムの中核的な存在として整備充実させる。
- ② 保育事業
 1. 休日への一時保育の拡大を行う（6月より）
 2. うづら保育園の分園創設を検討する。
 3. つどいの広場（在宅子育て支援）での一時預かり事業、訪問事業などの機能拡充させる。
 4. 地域連携を強化する。
- ③ 既存事業での環境改善
 - (ア) 特養改修をおこない、ユニットケアを促進する。
 - (イ) 老朽個所の特定と改善計画を作成する。

(4) 震災復興支援

- ① 義援金（各事業所に義援金箱を設置して実施中）
- ② 避難者受け入れ（保育、施設、在宅サービス、障害者）
- ③ 職員派遣（行政からの要請があり次第）の実施
- ④ 節電などまずできることに取り組む。
- ⑤ 震災から教訓を学び、京都老人福祉協会としての災害時の地域貢献について検討する。地域との防災協定などを結ぶ。

事業活動収支計算書 自平成22年4月1日 至平成23年3月31日 (単位:円)

支出の部		収入の部	
科目	金額	科目	金額
人件費	2,110,363,216	介護保険収入	2,119,193,976
直接介護費	382,812,777	措置費収入	154,662,575
一般管理費	295,270,819	診療収入	24,704,808
利用者負担減免額	3,342,337	ヘルパー講座収入	650,000
減価償却費	97,299,676	私的契約利用料収入	692,120
徴収不能額		経常経費補助金収入	30,936,807
引当金繰入	34,836,827	国庫補助金等特別積立金取崩額	47,320,661
事務費支出(うづら保育園)	12,432,394	運営費収入(うづら保育園)	118,423,680
事業費支出(うづら保育園)	15,362,312	利用料収入(うづら保育園)	10,981,400
		寄付金収入(うづら保育園)	600,600
		雑収入(うづら保育園)	3,228,696
		自立支援費収入	93,470,238
		高専賃収入(さくらハウス)	17,478,800
		その他事業収入	352,651,953
事業活動支出計	2,951,720,358	事業活動収入計	2,974,996,314
借入金利息	25,861,132	借入金利息補助金収入	5,843,220
雑損失	2,886,593	受取利息配当金収入	331,345
経理区分間繰入金支出(うづら保育園)	0	寄附金収入	4,986,305
		雑収入	19,271,931
		雑収入(事例)	2,178,232
		経理区分間繰入金収入(うづら保育園)	0
事業活動外支出計	28,747,725	事業活動外収入計	32,611,033
国庫補助金等特別積立金積立額	980,000	施設整備等補助金収入	4,360,000
固定資産売却損	1,583,123	固定資産受贈額	0
他会計区分繰入金支出	605,989,049	固定資産売却益	0
その他の特別損失	11,701,574	他会計区分繰入金収入	605,989,049
		その他の特別収入	11,320,398
特別支出計	620,253,746	特別収入計	621,669,447
その他の積立金繰入額	0	(当期活動収支差額)	28,554,965
次期繰越活動収支差額	978,819,958	前期繰越活動収支差額	674,817,572
(内当期活動収支差額)	28,554,965	その他の積立金取崩額	275,447,421
純資産の部合計	2,038,174,334		
資産の部合計	3,325,088,039	負債及び純資産の部合計	3,325,088,039
		支出の部合計	4,579,541,787
		収入の部合計	4,579,541,787

平成22年度決算報告書 社会福祉法人 京都老人福祉協会

貸借対照表 平成23年3月31日現在 (単位:円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	619,804,138	流動負債	102,629,118
固定資産	2,705,283,901	固定負債	1,184,284,587
基本財産	2,188,984,702	負債の部合計	1,286,913,705
その他の固定資産	516,299,199	純資産の部	
		基本金	218,250,000
		国庫補助金等特別積立金	808,139,630
		その他の積立金	32,964,746
		次期繰越活動収支差額	978,819,958
		(内当期活動収支差額)	28,554,965
		純資産の部合計	2,038,174,334
資産の部合計	3,325,088,039	負債及び純資産の部合計	3,325,088,039

施設ご利用者 満足度調査の結果(概要)

実施時期 平成22年11月
 対象 京都老人ホーム入居者又はご家族
 方法 第三者学生による聞き取り、又は本人自筆のアンケート方式
 回収率 計160件=母数の66%(内養護33件 特養122件) 家族101件・郵送による 入居者51件

今回の結果を真摯に受け止めて、今後の施設介護サービスの向上に結びつけて参ります。ご協力ありがとうございました。概略を下記にてお伝え致します。報告書(冊子)は養護・特養それぞれの施設の玄関に置いてあります。

内容 各項目の上位を書き出しました。

ことば使い	ていねい 57%	まあまあ 19%	普通 16%	その他 8%
職員の服装	普通 53%	清潔で感じが良い 35%	その他 12%	
個別の要望に対する介護職員の対応	ちゃんとしてくれる 77%	その他 23%		
施設内の連絡・連携	うまく行っている 53%	普通 32%	その他 15%	
設備・環境	よい 41%	普通 40%	その他 19%	
施設内の臭気	気になる 21%	気にならない 79%		
食事の献立	普通 33%	わからない 28%	とてもよい 26%	その他 13%
入浴回数・時間	今のままでよい 73%	その他 13%		もっと増やして欲しい 14%
更衣ケア	きちんとしてくれる 44%	普通 35%	その他 12%	不十分 9%
介護サービス計画の説明	よくわかる 40%	普通 39%	その他 21%	
入院や外泊等の相談対応	きちんとしてくれる 52%	普通 28%	その他 20%	
日常の希望に対して	すぐに対応してくれる 57%	普通 29%	その他 14%	
希望や苦情の言いやすさ	言いやすい 79%	言いにくい 21%		

自由ご意見(抜粋・要約)

1. 面会シートに電話番号を書いているが、無造作に箱に入れられているのが気になる。
2. 預かり金等の出納手数料が金額の大小にかかわらず、月1000円は高く感じる。
3. 養護老人ホームでは入院した時、入院費用と施設利用料の二重負担になるので不安。
4. 介護職員は胸に名前を付けて欲しい。そして自信を持って仕事をしたい。きっちんさくら(給食部)は各人が名前を付けているのになぜ?
5. 建物は古くて、後付けの設備もあってゴチャゴチャしているが、永年勤務されている顔見知りの職員さんが多くおられてとても安心して居ることが出来ます。でも、このごろ人事異動があって、姿が見えないので心細い気がします。
6. 自分の親を連れて散歩に行く時、すぐにベッドから車椅子へ移動してもらえるのがありがたいです。でももう少しゆっくり散歩できる庭があれば、入居者の方も外のベンチで会話も弾むのではないのでしょうか。
7. 面会者用の駐車場をもう少し欲しい。行事の時も駐車出来るとよい。
8. 家から持参した服に職員さんから注意をされた。それならば施設で適切な服を買って、費用を請求して下さい。また。面会に行った時に母が他人の名前がついた服を着ていたのは気になる。
9. 職員さんの都合もあると思いますが、もっと外出の取組みに力を入れてもらえると、本人にもよいと思います。よろしくをお願いします。
10. 私のところは、声が出ないので職員さんが遠くにいるとこっちゃんが呼んでいる時に、気づいてもらえるようなシステムが欲しい。また洗面台の高さをもう少し低くしてほしい。

以上のご意見をいただきました。忌憚のないご意見、誠にありがとうございました。個々の事情のある場合もございますが、再度、職員会議にてそれぞれのご意見を受け止めて吟味して、一つずつ検討致します。

そして徐々にこれらのご意見やご要望に対してこのように改善致しましたと、ご報告を出来るように対処して参ります。

平成23年7月1日

京都老人ホーム施設長

サークルメンバー募集!

バスケットしませんか??

バスケットボールサークル立ち上げ計画中です! 老若男女問わず募集しております。お気軽にご参加を!! 経験不問、初心者の方も大歓迎です。

参加希望の方は、TEL 641-6622 まで

よろしくお願いします。



とびの家

赤ちゃんツバメは皆に愛されど、元気に飛び立て!!

京都の玄関に今年もツバメが巣を造りました。正確には去年の巣を少し修繕して今年の巣にしました。7羽の赤ちゃんが生れて親鳥は餌を運ぶのに大忙し。大きな心配はカラスにやられることです。養護の利用者は玄関の椅子に腰掛けて、カラスがこないように見守ってくれました。

赤ちゃんツバメは皆に愛されど、元気に飛び立て!!

コラム

赤ちゃんツバメ、元気に飛び立て!!

うづら保育園 楽しくみんなでつどいました

「うづら保育園の保護者が気軽に集えるサークルがあれば良いなあ……」というママさん達の声が集まって、このたび「てんとう虫の会」が誕生しました。てんとう虫は幸せを運んでくれる虫といわれているそうで、クローバーの葉に集まっておしゃべりをしているイメージで名付けました。

保護者同士の親睦を深めることを第1目的にしております。ただおしゃべりをするだけでも楽しいのですが、小物やお菓子などの手作りを楽しめる活動をしていきたいと思っています。

園のご好意により学童保育クローバーさんのお部屋を貸していただけることになり、さっそく5月23日に第1回を開催いたしました。11人のお母さん方が集まり、今回はレースを使ったヘアピンを作成しました。参加された皆さん「久しぶりの裁縫やわ」「私、不器用やねん」と言いながらも次々とステキな作品が出来上がりました。



▲てんとう虫の会

ました。また時折、幼児さんの教室から子ども達の笑い声や歌声が聞こえてきて、最高のBGMを楽しめました。うづら保

育園はとても家庭的な雰囲気です、子供だけでなく保護者もとても気さくな方ばかりです。普段は園児の送迎時にご挨拶したり、少し立ち話をする程度ですが、この会でゆっくり話すことができました。育児に家事に仕事に大忙しの毎日ですが、ホッと息抜きができるとても和やかな時間を過ごせると、参加者の皆さんに喜んでいただけました。

これからも1年に5〜6回開催していく予定です。まだ発足したばかりの会で至らない点がたくさんありますが、無理のない形で末永く続けられたらと願っています。在園児さんの保護者はもちろん卒園児さんの保護者も気軽に参加していただけたらうれしいです。もちろんお父さんも大歓迎です。この趣旨をご理解いただき、多くの方々のご参加をお待ちしております。



▲楽しくみんなで、つどいました！

社会福祉法人 京都老人福祉協会グループ



浴衣をおゆずりください!!!

暑い夏真っ盛りとなりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか？
お家で「着なくなった」「処分しようか」などの浴衣がございましたらぜひ京老に寄付をお願いします。
男性用・女性用・子供用、帯だけでもかまいませんので、京老までお持ち頂けるとありがたいです。
今後の納涼大会でも着用させていただきますと思っています。
どうぞよろしくをお願いします。
京都老人ホーム 行事委員会より

納涼大会
日時 8月27日(土)
18:00~
場所 京都老人ホーム

